

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成29年3月2日 (2017.3.2)

【公開番号】特開2014-168678(P2014-168678A)
 【公開日】平成26年9月18日 (2014.9.18)
 【年通号数】公開・登録公報2014-050
 【出願番号】特願2014-19294(P2014-19294)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月23日 (2017.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動口への遊技球の入球に起因して抽出した乱数値に基づいて遊技者に有利な大当たり遊技を発生させるか否かを判定し、該判定の結果を特別図柄の変動表示後の確定表示により報知する主制御装置と、

該主制御装置から送信される信号に基づいて制御を行うサブ制御装置と、

該サブ制御装置に設けられ、前記信号に基づいて演出図柄表示装置に表示する前記特別図柄の擬似演出を複数の擬似演出の中より選択する擬似演出選択手段と、

遊技者が操作可能な操作手段 A 及び操作手段 B と、

を備え、

所定の前記擬似演出中に前記操作手段 B の操作が有効となる有効期間 A を発生させ、該有効期間 A 中に前記操作手段 B を操作すると、前記判定の結果を示唆する演出となる特定演出 A が行われる弾球遊技機において、

前記有効期間 A を有効期間 B に変更する有効期間変更手段と、

遊技者に向けて、該変更の条件を報知する変更条件報知手段と、

該変更条件報知手段によって報知された条件が所定期間中に達成できたか否かを判定する成否判定手段と、を備え、

前記有効期間変更手段は、前記有効期間 A 中において前記操作手段 B の操作により前記特定演出 A が行われた場合には、当該有効期間 A を前記有効期間 B に変更せず、前記成否判定手段が、前記変更条件報知手段によって報知された条件が達成されたと判断した場合には、前記有効期間変更手段によって前記有効期間 A を前記有効期間 B に変更するようにし、

前記有効期間 B 中に前記操作手段 B が操作されると、判定結果を示唆する演出であって前記特定演出 A とは異なる特定演出 B が行われるようにし、

前記変更条件報知手段によって報知される条件は、前記操作手段 A の操作で達成させる条件である

ことを特徴とする弾球遊技機。

【請求項 2】

始動口への遊技球の入球に起因して抽出した乱数値に基づいて遊技者に有利な大当たり遊技を発生させるか否かを判定し、該判定の結果を特別図柄の変動表示後の確定表示により

報知する主制御装置と、

該主制御装置から送信される信号に基づいて制御を行うサブ制御装置と、

該サブ制御装置に設けられ、前記信号に基づいて演出図柄表示装置に表示する前記特別図柄の擬似演出を複数の擬似演出の中より選択する擬似演出選択手段と、

遊技者が操作可能な操作手段 A 及び操作手段 B と、

を備え、

所定の前記擬似演出中に前記操作手段 B の操作が有効となる有効期間 A を発生させ、該有効期間 A 中に前記操作手段 B を操作すると、前記判定の結果を示唆する演出となる特定演出 A が行われる弾球遊技機において、

前記有効期間 A を有効期間 B に変更する有効期間変更手段と、

遊技者に向けて、該変更の条件を報知する変更条件報知手段と、

該変更条件報知手段によって報知された条件が所定期間中に達成できたか否かを判定する成否判定手段と、を備え、

該成否判定手段が、前記変更条件報知手段によって報知された条件が達成されたと判断した場合には、前記有効期間変更手段によって前記有効期間 A を前記有効期間 B に変更するようにし、

前記有効期間 B 中に前記操作手段 B が操作されると、判定結果を示唆する演出であって前記特定演出 A とは異なる特定演出 B が行われるようにし、

前記有効期間 A 中に前記操作手段 A 及び前記操作手段 B が操作されなかったら、予め定められた終了タイミングで前記有効期間 A を終了させるようにし、

前記所定期間を前記有効期間 A 内に設け、

前記有効期間変更手段は、前記終了タイミングになる前に前記有効期間 A を終了させて、前記有効期間 B を開始させるようにし、

前記有効期間 B 中に前記操作手段 B が操作されなかったら前記終了タイミングで前記有効期間 B を終了させ、

前記変更条件報知手段によって報知される条件は、前記操作手段 A の操作で達成させる条件である

ことを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 1 記載の弾球遊技機は、

始動口への遊技球の入球に起因して抽出した乱数値に基づいて遊技者に有利な大当たり遊技を発生させるか否かを判定し、該判定の結果を特別図柄の変動表示後の確定表示により報知する主制御装置と、

該主制御装置から送信される信号に基づいて制御を行うサブ制御装置と、

該サブ制御装置に設けられ、前記信号に基づいて演出図柄表示装置に表示する前記特別図柄の擬似演出を複数の擬似演出の中より選択する擬似演出選択手段と、

遊技者が操作可能な操作手段 A 及び操作手段 B と、

を備え、

所定の前記擬似演出中に前記操作手段 B の操作が有効となる有効期間 A を発生させ、該有効期間 A 中に前記操作手段 B を操作すると、前記判定の結果を示唆する演出となる特定演出 A が行われる弾球遊技機において、

前記有効期間 A を有効期間 B に変更する有効期間変更手段と、

遊技者に向けて、該変更の条件を報知する変更条件報知手段と、

該変更条件報知手段によって報知された条件が所定期間中に達成できたか否かを判定する成否判定手段と、を備え、

前記有効期間変更手段は、前記有効期間 A 中において前記操作手段 B の操作により前記特定演出 A が行われた場合には、当該有効期間 A を前記有効期間 B に変更せず、前記成否判定手段が、前記変更条件報知手段によって報知された条件が達成されたと判断した場合には、前記有効期間変更手段によって前記有効期間 A を前記有効期間 B に変更するようにし、

前記有効期間 B 中に前記操作手段 B が操作されると、判定結果を示唆する演出であって前記特定演出 A とは異なる特定演出 B が行われるようにし、

前記変更条件報知手段によって報知される条件は、前記操作手段 A の操作で達成させる条件である

ことを特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 2 記載の弾球遊技機は、

始動口への遊技球の入球に起因して抽出した乱数値に基づいて遊技者に有利な大当たり遊技を発生させるか否かを判定し、該判定の結果を特別図柄の変動表示後の確定表示により報知する主制御装置と、

該主制御装置から送信される信号に基づいて制御を行うサブ制御装置と、

該サブ制御装置に設けられ、前記信号に基づいて演出図柄表示装置に表示する前記特別図柄の擬似演出を複数の擬似演出の中より選択する擬似演出選択手段と、

遊技者が操作可能な操作手段 A 及び操作手段 B と、

を備え、

所定の前記擬似演出中に前記操作手段 B の操作が有効となる有効期間 A を発生させ、該有効期間 A 中に前記操作手段 B を操作すると、前記判定の結果を示唆する演出となる特定演出 A が行われる弾球遊技機において、

前記有効期間 A を有効期間 B に変更する有効期間変更手段と、

遊技者に向けて、該変更の条件を報知する変更条件報知手段と、

該変更条件報知手段によって報知された条件が所定期間中に達成できたか否かを判定する成否判定手段と、を備え、

該成否判定手段が、前記変更条件報知手段によって報知された条件が達成されたと判断した場合には、前記有効期間変更手段によって前記有効期間 A を前記有効期間 B に変更するようにし、

前記有効期間 B 中に前記操作手段 B が操作されると、判定結果を示唆する演出であって前記特定演出 A とは異なる特定演出 B が行われるようにし、

前記有効期間 A 中に前記操作手段 A 及び前記操作手段 B が操作されなかったら、予め定められた終了タイミングで前記有効期間 A を終了させるようにし、

前記所定期間を前記有効期間 A 内に設け、

前記有効期間変更手段は、前記終了タイミングになる前に前記有効期間 A を終了させて、前記有効期間 B を開始させるようにし、

前記有効期間 B 中に前記操作手段 B が操作されなかったら前記終了タイミングで前記有効期間 B を終了させ、

前記変更条件報知手段によって報知される条件は、前記操作手段 A の操作で達成させる条件である

ことを特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

請求項1に記載の遊技機によれば、所定期間中に条件をクリアすれば、有効期間Aが有効期間Bに変化し、変化した有効期間B中に操作手段Bを操作することで、通常の有効期間Aとは異なる示唆演出が行われるようになるため、遊技者は、新たな有効期間を自力で作出したと思うことが出来るようになるとともに、自力で示唆演出を発生させたと強く思うようにすることが可能となる。また、遊技者の希望、又は遊技状態に応じて、示唆演出の種類を変更できるようになるので、遊技者の遊技意欲を増大させることが可能となる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

請求項2に記載の遊技機によれば、所定期間中に条件をクリアすれば、有効期間Aが有効期間Bに変化し、変化した有効期間B中に操作手段Bを操作することで、通常の有効期間Aとは異なる示唆演出が行われるようになるため、遊技者は、新たな有効期間を自力で作出したと思うことが出来るようになるとともに、自力で示唆演出を発生させたと強く思うようにすることが可能となる。また、遊技者の希望、又は遊技状態に応じて、示唆演出の種類を変更できるようになるので、遊技者の遊技意欲を増大させることが可能となる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

上皿55の上部ほぼ中央には、遊技者が操作可能な演出ボタンA 67と演出ボタンB 6

8とを配置している。所定の擬似演出の実施中に報知された条件（演出ボタン A 6 7 の操作回数）を、所定期間中に達成することで有効期間 A が有効期間 B に変化し、有効期間 A 又は有効期間 B 中に演出ボタン B 6 8 を操作することで、各有効期間に応じた予告演出が後述する演出図柄表示装置 6 に表示される。